

世界のデング熱流行状況(更新 11)

2010年6月7日 ProMED 情報

(1) イタリア(エジプトからの輸入例)[個人情報]

エジプト紅海のリゾート地へ旅行した2名がデング熱疑いと診断されました。5月の初め、2人は、マルサアラム Marsa Alam、Berenice と Bir Shalatayn を旅行しました。

(2) ガボン[Generation Nouvelle]

チクングニヤ熱とデング熱患者がオート・オゴウエ Haut-Ogooue 州とオゴウエ・ロロ Ogooue-Lolo 州で報告されました。国際医学研究センター(CIRMF)の検査で616検体から84名のデング熱患者と15名の混合感染が見つかりました。死亡患者は報告されていません。

(3) インド(マハーラーシュトラ州)[Yahoo News]

同州ピムリチンチワッド Pimpri-Chinchwad でデング熱とマラリアが流行しています。5月までのデング熱患者は34名でした。また、プーネ(PMC)では、4月までに14名のデング熱患者が発生しました。

(4) アメリカ領バージン諸島[Caribbean Net News]

6月2日、保健省によると、セント・トーマス-セントジョン St Thomas-St John 地区でデング熱患者が初めて確認されました。

(5) グアドループ島[France Antilles]

衛生監視研究所 Institut de Veille Sanitaire からの最新の情報によると、5月17~23日の週に、デング熱患者650名が新たに報告されました。高レベルの流行で、流行の規模は予想の8倍です。

昨年12月からのデング熱患者数は現在までで7,260名です。流行当初より106名の確定診断患者が入院しました。一般的デング熱症状が50名、重症が19名、デング出血熱(またはショック症候群)が4名、19名が不完全な出血型で、残りの14名は現在調査中です。成人と子供の患者比率は約50/50です。

(6) ブラジル(リオ・グランデ・ド・スル州)[Zero Hora]

同州首都ポルト・アレグレでの2名のデング熱患者発生は、隣接自治体の蚊対策を強化させています。カノアス Canoas、Viamao、アウボラーダ Alvorada の3つの自治体は、病気の危険を回避するため予防処置をとっています。

(7) ブラジル(ミナス・ジェライス州)[Montes Claros]

保健当局によると、同州では首都での6名を含むデング熱死亡患者38名が発生しました。昨年の死亡患者数は24名でした。そのほかに59名の出血性による死亡患者について調査中です。ペロ・オリゾンテ Belo Horizonte では、デング出血熱疑い患者が16名死亡しました。モンテス・クラロス Monte claros では、デング熱疑いで2名死亡しました。同州のデング熱死亡患者は、22名はデング熱による合併症で16名はデング出血熱です。

(8) ブラジル(サン・パウロ州)[Gazeta de Ribeirao]

保健当局によると、1月1日~6月2日までの、同州リベイラン・プレトでのデング熱患者数は24,523名で、過去10年間の確定診断患者より48%の増加でした。

(9) ブラジル(リオ・デ・ジャネイロ州)[O Sao Goncalo]

保健当局によると、同州では5月26日までに17名がデング熱で死亡しました。Sao Goncalo では6名が死亡しました。別の報告では、5月までに疑い患者は13,154名でした。昨年の同時期は9,566名のデング熱患者が報告されました。患者数が多い自治体はタングア Tangua、Sao Goncalo、マカエ Macae、Itaborai Itaperuna、Casimiro de Abreu、リオ・デ・ジャネイロです。

(10) ブラジル(国全体)[Destak]

同国デング熱患者数は、15歳以下で増加しています。このため保健省は、デング熱が東南アジアに起こったように「小児疾患」に変化することを恐れています。2007年に子供のデング熱患者はいませんでした。現在は成人4名に対して平均子供1名が感染しています。2008年のリオ・デ・ジャネイロの流行では、ほとんどの患者が15歳以下でした。